



ロータリーに輝きを

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏顕 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2054回

- ソング 我が藤枝ロータリー
- ソングリーダー 山田 賀昭君



【半夏生】

写真提供：鈴木 舜光君

会長報告

池ノ谷 敏正君

皆さんこんにちは。

今日は、第2620地区荻原英生ガバナー補佐、寺戸常剛事務局長をお迎えしての例会です。荻原ガバナー補佐、寺戸事務局長、ようこそ藤枝クラブへお越しくださいました。会員一同歓迎いたします。



今年度一年、多忙な日々を送られる事でしょうが、健康には十分ご注意ください、私たちをご指導いただけますよう、よろしく願いいたします。

先週の例会で、我がクラブに限らずロータリークラブ全体の問題点でもある会員増強について、話し合いをもちました。いくつかのグループに分かれ、いくつかのテーマをそれぞれ審議したわけですが、この後のクラブ協議会では、その結果をガバナー補佐の前で発表させていただきます。そしてその成果を足掛かりとし、また有効に活用し、今年度の増強目標達成を目指したいと考えております。

そして、ガバナー補佐におかれましては、発表の終了後にご意見、アドバイスを含めての講評を頂けたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、昨日は「土用の丑の日」でしたが、皆さんは鰻を召し上がりましたでしょうか。

私は、今年の夏も「土用の丑の日」を逃してしまいましたが、「土用の丑の日」に鰻を食べるという習慣は一説によれば、かの平賀源内により打たれた鰻屋の販売促進のためのキャッチコピーが発祥とされています。

商売がうまく行かない鰻屋が、夏に売れない鰻を何とか売るため平賀源内の所に相談に行きました。源内は、「本日丑の日」と書いて店先に貼ることを勧めました。すると、その鰻屋は大変繁盛したそうです。その後、他の鰻屋もそれを真似るようになり、土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したということです。

丑の日と書かれた貼り紙が効を奏した理由は諸説あり定かではありませんが、一説によれば昔は「丑の日に『う』の字が附く物を食べると夏負けしない」という風習があったとされており、鰻以外には、梅干や瓜などを食べる習慣もあったようです。

鰻にはビタミンA・B群が豊富に含まれているため、夏バテ、食欲減退防止の効果が期待できます。ただ、鰻の旬は冬眠に備えて身に養分を貯える晩秋から初冬にかけての時期なので、秋から春に比べても夏のものは味がおちるのだそうです。

近年、鰻の稚魚不足が叫ばれ、鰻の値段も高騰しています。また、「ニホンウナギ」は、残念なことに国際自然保護連合（IUCN）が、7月12日に発表した「レッドリスト」の最新版で、絶滅危惧種とされてしまいました。このままでは、さらに鰻は高嶺の花となってしまうそうです。なんとか保護して、増やしていけたらいいですね。

★ ガバナー補佐訪問

国際ロータリー
第 2620 地区
静岡第 5 分区
ガバナー補佐
荻原 英生様



■ 幹事報告

鈴木 舜光君

- ・第 2620 地区より
8月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=102円です。
- ・藤枝市社会福祉協議会より
会報と会費ご協力のお願いが届いております。
- ・ザ・ロータリアン誌8月号が届いております。

■ 出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/42 76.19%	34/42 80.95%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池谷君 ○石垣君 ○大長君 ○畑君
○間野君 江崎晴君 大杉君 落合君 玉木君
仲田晃君

■ ビジター

国際ロータリー第 2620 地区静岡第 5 分区
ガバナー補佐 荻原 英生様
国際ロータリー第 2620 地区静岡第 5 分区
事務局長 寺戸 常剛様

■ スマイルBOX

小西 啓一君

- ・荻原(おぎわら)ガバナー補佐、寺戸(てらど)G補佐事務局長、ようこそお越し下さいました。本日のクラブ協議会ご指導のほどよろしくお願いたします。池ノ谷敏正君
- ・荻原ガバナー補佐、御苦勞様です。心より歓迎いたします。荻原様は私の大学の1年先輩です。一年間体調管理につとめ、がんばって下さい。村松英昭君

スマイル累計額 36,000円

■ ポリオプラス寄付金

ポリオ撲滅活動へのご協力有難うございます。

本日寄付金額 3,850円

寄付金累計額 23,208円

■ 委員会報告

2014～15年度

インターアクト第41回年次大会

松田 真彦君



テーマ「ボランティアって何？」

日時：2014年7月26日(土)～27日(日)

会場：焼津青少年の家

ホスト校：静岡県立焼津中央高校

ホッパRC：焼津南ロータリークラブ

猛暑の両日、第41回年次大会が盛大に開催されました。

高校生の7割は女子で、山梨県からも多く参加をしておりました。

初日の研修は、前年の指導者講習会で講師をされた二杉孝司先生(金城学院大学文学部教授)に再び登壇して頂き、今回の内容は、「言葉の役割」について、

ワークショップも含めた研修でした。

その後、夕食、ロータアクト報告会、各校との意見交換会が開かれました。

翌日は、魚釣り、地引網の企画が開かれました。

ここでは、各校との意見交換で出された内容について追記します。

(インターアクトの今後の向上、高校で役立つために改善点の意見交換)

- ・学校とロータリーとのつながりが疎遠になっている面がある。
- ・インターアクト担当が単年制の弊害が指摘される。できたら三年担当が望ましい。
- ・ロータリーは、もう少し学校側の日程等を把握する必要がある。

- ・連絡が、直前になることがあり、調整に難儀をした。
- ・学校側は、資料が届いても校長経由など担当顧問に届くに日数を要するので学校と担当顧問の双方に連絡をしてもらいたい。
- ・インターアクトの学生のメリット（進学では、明学、青学での有利性。就職では就職先企業の社長がロータリアンでの有利性）



(担当／菅原君)